

平成29年12月11日

所属長様
関係職員様

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
東京都高齢者福祉施設協議会会長 西岡 修
職員研修委員会統括委員長 堀 茂

東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修委員会 生活相談員研修委員会主催



ソーシャルワーク カフェ in 飯田橋

～ソーシャルワーカーがつながり未来をデザインする～

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、生活相談員研修委員会では標記研修会を下記のとおり開催いたします。
関係所属長におかれましては、貴施設関係職員の参加方につきご高配賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。

記

1 趣 旨

今日、地域包括ケアを推進するにあたり、ソーシャルワークの機能の重要性が一層高まってきています。これまで、ソーシャルワークは長い年月をかけて「ストレングス・エンパワメントの視点」、「環境へのシステム思考」、「交互作用とその活用」、「地域資源の開発・活用」、「多職種連携」等の視点から、多様な実践が展開されてきました。

一方、それらを実践するソーシャルワーカーは様々な場所で活躍しているものの、それぞれが所属する団体や事業体を越えた繋がりへの機会は少なかったように思います。

そこで、今回は特養、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、地域包括支援センター、有料老人ホーム、医療機関等、多様な事業体のソーシャルワーカーと繋がり、意見・情報交換を行い、新たな視点や実践の糸口を模索したいと考えております。

当日は、「入退所調整」、「多職種連携」、「地域資源の活用」、「人材育成」の4つのテーマを回って頂き全てのテーマについて意見交換を実施する予定です。意見・情報交換がスムーズに行えるようテーマ毎にファシリテーターを配置します。どうぞ、お気軽にご参加下さい！

2 日 時 平成30年1月20日（土）14時00分～17時00分（受付：13時30分～）

3 会 場 飯田橋セントラルプラザ12階 （別紙、会場案内図を参照）

4 内 容 コーディネーター：西口 守 氏（東京家政学院大学 人間福祉学科 教授）

5 対 象 東京都社会福祉協議会に会員施設所属する生活相談員（東京都に限る）定員30名（先着順）。
※当日は全体で100名程度を予定しています。

6 参加費 1,000円 ※当日、受付にてお支払いください。引換えに領収書をお渡しします。
※おつりのないようご協力をお願い申し上げます。

- 7 申込み 別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、1月10日（月）までに下記の申込用紙からお申込みください。なお、参加券等は発行いたしませんので直接会場へお越しください。定員超過でご参加いただけない場合のみ、事前にご連絡申し上げます。

東京都高齢者福祉施設協議会のホームページにアクセス

⇒**お知らせ**より当該研修会のリンクを選択 ⇒お申込み（要ID・パスワード）

※会員ID：パスワード ともに tkykourei（半角英数）

- 8 個人情報保護について

「参加申込書」に記載された情報は本研修会の運営管理のみに利用します。

- 9 本研修に関する問い合わせ先

東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当（佐藤）

TEL：03-3268-7172 FAX：03-3268-0635 E-mail：ayusato@tcsw.tvac.or.jp

会場案内図

会場：飯田橋セントラルプラザ12階 会議室

所在地：東京都新宿区神楽河岸1-1

アクセス：JR「飯田橋駅」西口より徒歩3分

地下鉄有楽町線・南北線・東西線・大江戸線「飯田橋駅」B2b出口より徒歩0分



送信先 FAX : 03 - 3268 - 0635 東京都社会福祉協議会 事務局（佐藤） 行

※切り取らずにこのまま送信ください。（送付状不要です）

ソーシャルワーク カフェ in 飯田橋 出欠連絡票
平成 30 年 1 月 20 日(土)

ご出席 / ご欠席 ※どちらかに○印をお願いします

施設名		ふりがな	
		氏名	
事業者名		職種	
TEL	— —	FAX	— —
事業種別 ※1つに☑	☐ 施設関係（特養・養護・軽費等） ☐ 在宅関係（デイ・ショートステイ等） ☐ 医療関係（病院・老健等） ☐ 地域包括支援センター ☐ その他（ ）		

※アンケートにご協力ください。

当日、テーマ（入退所調整、多職種連携、地域資源の開発・活用、人材育成）に分かれ、意見交換を行う予定です。つきましては、上記テーマにおいて各施設での取り組みや課題等がありましたら、ご記入下さい。

■テーマ（選択）

☐入退所調整 ☐多職種連携 ☐地域資源の開発・活用 ☐人材育成

■各施設での取り組みや課題等（自由記述）

ご記入ありがとうございました。

記入頂いた各施設の取り組みや課題は、事務局で集計を行い、当日資料として配布します。